

て逃げてゐるのだ。諸君そこで二十七日には總會を開き今後、対策を最も細密に
然も具体的に決定して会社の出稼によつて、直ちに戦端を開くべく悲想。決心を
してゐるのだ。

全東電極業員諸君。こうした情勢の下に我々は直ちに立つて戦線と統一して共
同斗争を展開して行くまで戦ふことを誓ふものである。

関電靜岡第二分會

一九二八、七、三〇

(附記)

指 入

會

社と提携せざるを祝儀の彈圧は益々露骨にあらはれて来た。

又組合本部と繋つて幹部を大會を解散し幹部十數名を捕へた。
加へて、従つて争議團の指導部が完全になり、連綿なき対策がなされ
水もあつた。

各

分會はありつゝ、ありつゝ、逆空を飛ばしつゝ、結果を固くし、一
層、最悪なため連絡が絶えることかあつても大膽に行動し、水へことを望む。

- 一、 従来より多くする為の「逆空」も、古の「逆空」を存し、押印するもの。
- 二、 先きに提出せる噴霧器の内容を、要求として、改訂する。
- 三、 争議協会の未納の所、大に、延納する。
- 四、 本部との連絡。

不 協会は受けつゝ、協会の陽行を、完全し、物を、受けつゝ、

指 入 直に責任者、手を通し、全員の徹底せしめること。

只 毎日の情勢(従業員、本部、官憲、會社)を、敏速に、本部へ、報告すること。

一九二八、八、二

各分會幹部會 啟

東電従業員争議團本部 啟